

地域再生計画に係る事後評価

○地方創生推進交付金

地域再生計画の名称		こよう鋸南 ～廃校利用を核とした「人のつながりと健康のまちづくり」～					
年度	事業費	うち交付金	主な内容				
H28	10,886,400 円	5,443,200 円	公共施設再生プラン・産業創出プランの作成、ワンストップ組織立上げ計画の作成				
H29	9,997,160 円	4,998,580 円	公共施設の利活用計画、ワンストップ組織の体制づくり案の作成				
重要業績評価指数 (KPI)			H28	H29	H30	合計	備考
ワンストップ窓口経由の雇用数(人)	目標		2	10	20	32	ワンストップ組織未開設
	実績		0	0	0	0	
	達成率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ワンストップ窓口経由の相談者数(人)	目標		10	100	200	310	
	実績		0	0	0	0	
	達成率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
担当課	実施した事業内容		成果		課題	今後の方向性	
地域振興課農林水産振興室	公共施設カルテを作成し、早急に活用すべき施設を検討した。		8施設について、活用優先度を定めた。		各施設を解体、整備するには、財政的な問題をクリアしなければならない。	この成果を元に、各課で管理している施設の利用を各課の責任で計画的に推進していく。	
地域振興課まちづくり推進室	定住・移住の課題調査のため、移住者や住民、団体へのヒアリングの実施、先進事例の調査を実施し、情報の発信、受入れの為にワンストップでの窓口を開設するための問題点や組織の目的、構成、ルールなどの整理を実施した。		人が鋸南町と関係を持つことから始まり、不十分な産業間の連携を図り、人や物など町の資源を魅力化することが成功への足掛かり。また、生粋の町民や移住者へのヒアリングから主体的に関わることへの潜在意識の高さが確認できた。		成功している自治体では、行政と民間の中間を伴走し自治体の推進力となる「生きた中間組織」が存在している。事業を展開していくには、民間の力が必須であり、人を巻き込み・関わってもらうチームづくりが重要なポイント。	道の駅保田小学校においてワンストップ窓口が設置できるよう、地域おこし協力隊とともに共同で進めていく。	